

第2回 パーソン・センタード・ケアを考える会 オンラインのつどい



ゲスト： 桑野 康一 氏

(NPOシルバー総合研究所理事、
株式会社シルバーチャンネル、
DCM基礎トレーナー)

“実践の中に、パーソン・センタード・ケアの一片
(ピース) を探る～田中とも江さんを通して“

* 日時 2020年9月6日(日)

10:30～12:00

* ZOOM (WEB会議システム)使用



今回は田中ともえさん (抑制廃止研究所所長、ケアホーム西大井こうほうえん施設長) の取り組みを中心に、これまでの排泄ケアに関する映像などをご紹介します。ながら、PCCのピースをみなさんと一緒に探してみたいと思います。現場の現状や、アイデアなど、みんなで共有しませんか！

* 定員 20名 (定員に達し次第、締め切ります)

* 参加費 一般：1000円、当NPO会員：500円

* 申込方法 **事前申込要**

当会HPの申込フォームより、お申し込みください

<http://www.pcdc.or.jp>

返信メールに振込先が記載されています。8月31日までに振込確認
のできた方に、参加情報をお送りいたします。

* 問合せ先：kensyu@pcdc.or.jp

* 主催 NPO法人パーソン・センタード・ケアを考える会

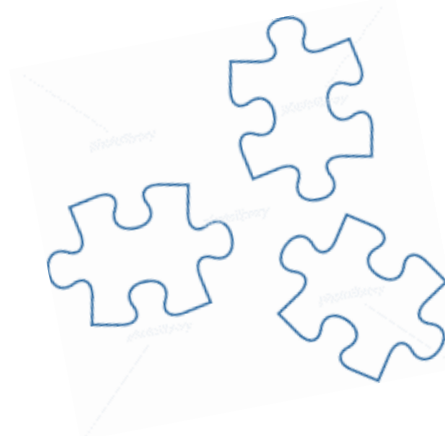
◆ 桑野康一氏（ゲスト）からのメッセージ

私は、元々テレビドキュメンタリーのカメラマンをしていましたが、2000年頃から高齢者ケアの世界に興味を持ち、認知症ケア、排泄ケア、回想法、看取り、高齢者ソフト食などを映像で紹介する仕事をおこなってきました。2009年から、パーソン・センタード・ケアと認知症ケアマッピング基礎研修のトレーナーをしております。

トム・キットウッド教授らは以前の文章に、～今後の世代がパーソン・センタード・ケア（以下PCC）を構成する「ピース」（ジグソーパズルのような）を発見して組み合わせることで、よりPCCが完成されていくだろう～といった意味の言葉を残しています。私は、認知症の方への排泄ケアは、その一つではないかと思っています。

排泄ケアに関しては、田中とも江さん（抑制廃止研究所所長、ケアホーム西大井こうほうえん施設長）の取り組みを撮影してきました。2005年には「福島県高齢者排泄自立支援事業」取材し、その成果を研修事業にしました。一時中断していましたが、2020年から新しい排泄ケア研修を始めるべく現在準備中です。

今回は、これまでの排泄ケアに関する映像などをご紹介しながら、PCCのピースをみなさんと一緒に探してみたいと思います。現場の現状やアイデアを共有させていただければ幸いです。



NPO法人パーソン・センタード・ケアを考える会は、パーソン・センタード・ケアの考え方を生かして、認知症のある人、家族、専門職と共に考え、学び合う活動を十数年継続してきました。今後も、オンラインのつどいや公開講座、研修会など企画していきますので、どうぞお気軽にご参加ください。会員も随時募集しています。詳しくは、当会HPをご覧ください。

URL：<http://www.pcdc.or.jp>

E-mail：office@pcdc.or.jp

Tel：080-2025-7416